

## 前期基本計画 平成29年度 基本施策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：02 計画的な道路整備と維持管理

主管課長職・氏名	道路課長 太田城人
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<p>安心で快適な暮らしを支える重要な生活基盤である道路について、将来の少子高齢化や施設の老朽化による補修・更新需要の増加を見据えて、安全で快適に利用できる道路網の整備と老朽施設の補修・更新を含めた維持管理を計画的に実施し、より安全で安心な道路環境の整備を目指します。</p>
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	0	-	-	-	0.0	
2	幸福 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	-	
			49.3	0	-	-	-	0.0	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 04020100 より安全で安心な道路環境の整備 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	0	-	-	-	0.0	
2	幸福 04020100 より安全で安心な道路環境の整備 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	-	
			49.3	0	-	-	-	0.0	
3	暮らし 04020200 安全・快適な幹線道路網の整備 交通事故発生件数 単位	108	107	106	105	104	101	-	
			110	0	-	-	-	0.0	
4	幸福 04020200 安全・快適な幹線道路網の整備 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	-	
			49.3	0	-	-	-	0.0	
	単位								

## 前期基本計画 平成29年度 基本施策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：02 計画的な道路整備と維持管理

主管課長職・氏名	道路課長 太田城人
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

## (1) 基本施策目標の進捗状況分析

道路新設改良事業、歩道整備事業、市道改修事業等により、安全で安心な市道環境の整備を進めてきましたが、依然として道路に関する地域からの要望は多く寄せられており、早急に地域からの要望に応じていくためには、更なる効率的な事業の実施が必要となっています。

## (2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

インフラの老朽化が社会問題化する中で、道路・橋梁等の道路施設の老朽化への適切な対応が求められています。また、高齢化社会の進展等を見据え、より交通安全に配慮した道路整備が必要となっています。

## (3) 政策との関連性

交通安全に配慮した道路整備の推進、適正な維持管理や老朽化対策の実施、地域間を安全かつ円滑に移動できる道路ネットワークの整備などにより、道路の安全性・利便性を向上させることが、ひとにやさしく安心・快適なまちづくりにつながります。

## 3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

## (1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- 限られた財源により効果的な市道整備を推進するため、逐次事業計画の見直しを行うとともに「道路整備計画」の変更を行います。なお、見直しに当たっては、市民ニーズの把握と事業の透明性の確保に努め、優先順位を明確にする必要があります。
- 市の「公共施設等総合管理計画」との整合を図り、道路施設の中長期的な維持修繕の指針となる「道路維持管理計画」を策定します。また、道路施設の維持管理を計画的に実施し、施設の機能維持と安全性の向上を図るとともに長寿命化を推進します。
- 市道維持管理事業、市道除排雪事業等における地域との連携強化に向けた取り組みを推進します。

## (2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題

- 道路事業の主要な財源である社会資本整備総合交付金の必要額の確保が難しい状況が続いており一部の事業に遅れが生じていることから、引き続き財源の確保に努めながら事業の促進を図る必要があります。
- 地域との協働による市道の除排雪について、取組の継続に向けた支援体制の整備を進める必要があります。

## (3) 基本計画期間及び平成29年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- 通学路の安全確保など市民の安全・安心に関わる市道の新設改良事業及び改修事業について、早期に事業効果が発現されるよう優先的に取り組みます。

